

縫製工場が進むグリーン化

2022年の輸出統計によると、ベトナムの主要輸出品目のうち、縫製品は金額ベースで第4位（全体の10%）と重要な地位を占めており、日本への輸出品目では第1位（全体の17%）となっています。

2023年は世界的な不況の影響を受け、ベトナムの縫製品の輸出総額は2022年比10%減と落ち込みました。

2024年第1四半期は前年同期比9.62%増と回復の兆しを感じられましたが、金利リスクや政治的緊張など、課題を引き起こすリスクは多く残っています。課題克服の対策の一つが、工場のグリーン化です。例えば、バングラディシュはサプライチェーンのグリーン化により2023年の受注を伸ばしました。同国には、人や環境へ配慮された建築物を評価するLEED認証を得た工場が150以上あり、現在500の工場が申請中です。

ベトナムは同国をはじめ、アフリカ、ロシア、インドといった他国競合市場との熾烈な競争に勝たなければなりません。現在、ベトナムは53カ国・地域と自由貿易協定（FTA）を締結していますが、新世代のFTAはより厳しいグリーン基準を課しています。ベトナム繊維・縫製品協会は、「中小企業の80%以上が、LEEDやLOTUS認証などの権威あるグリーン認証を取得するためのGX（グリーントランスフォーメーション）への投資資金が不足している。特に、EUなどの大市場が環境保護基準を厳格化している状況では、GXがこれまで以上に喫緊の課題となっている」と問題提起しています。

縫製工場において、比較的導入しやすい対策がグリーン照明への切替です。ベトナムの一部の工場は、環境に優しい最先端のLEDランプを採用し、効率的な稼働システムを導入することで、電力消費量を20%以上削減することに成功しました。また自然光を取り入れるレイアウトに変更することで、電力消費量を削減しつつCO2排出量削減にも貢献します。ベトナムは2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指すことを表明しています。工場のグリーン化は国際競争に勝ち残るだけでなく、その取り組みに寄与することにもなります。GXは世界的な動向であり、それに対応できない輸出市場は今後淘汰されていくでしょう。特に中小企業へ向けた政府・地方の支援策が強く待たれます。

大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク

株式会社 NC ネットワーク (ベトナム: NC Network Vietnam JSC.)

日本事務所：東京都台東区東上野1丁目14番5号 ユーエムビル8階

ベトナム事務所：8, No.5 Street, Him Lam, Tan Hung Ward, District 7, Ho Chi Minh, VIET NAM